

2020年度 大型機械工具の保有・更新状況

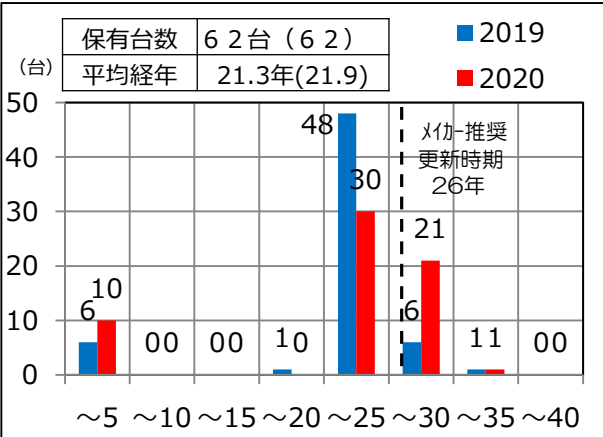
1. 保有実態と更新計画調査

調査対象機種：大型機械（①ジブクレーン ②クライミングクレーン ③シューチェーン延線車）

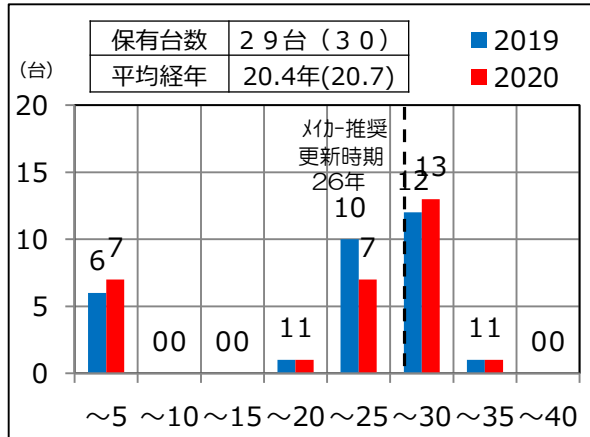
調査対象会社：関西地区で大型機械工具を保有している会社（主要 8 社）

2. 保有台数と経年分布

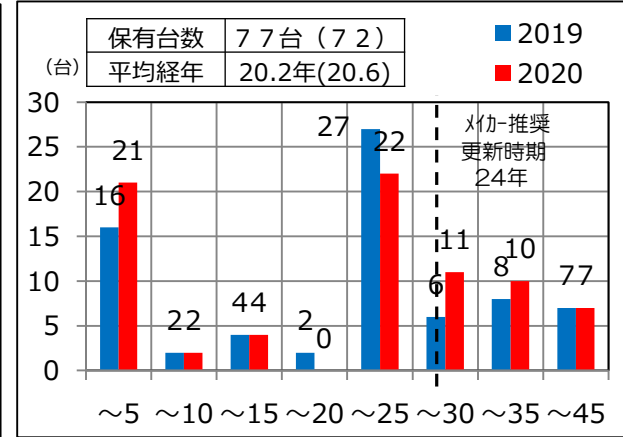
①ジブクレーン



②クライミングクレーン

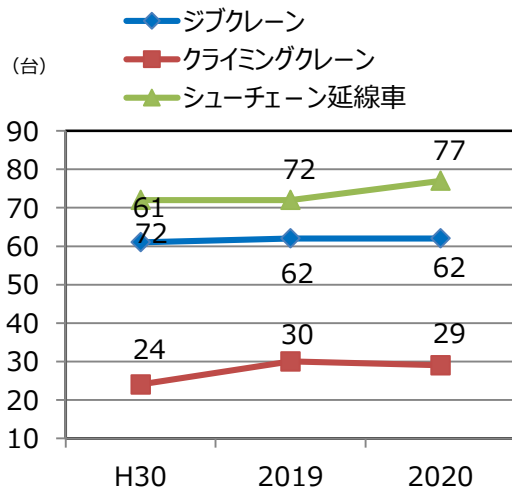


③シューチェーン延線車



・基幹系および中～大規模の改良工事の稼働・予報により、機械工具への設備投資(新規購入およびオーバーホール)が順調に進んでいる
 ・古い機械の整理・廃棄も行われており、新規購入と併せて、経年が若干ではあるが減少した

3. 保有台数の推移



4. 機械工具の新規配備状況

大型機械工具	2020年以降計画		2020実績		2021年以降計画		
	計画	(会社数)	実績	(会社数)	計画	(会社数)	
ジブクレーン	12	(4)	4	(3)	3	(2)	
クライミングクレーン	4	(2)	1	(1)	1	(1)	
シューチェーン延線車	7	(4)	5	(3)	1	(1)	
その他機械工具		2020年以降計画		2020実績		2021年以降計画	
品名	計画	(会社数)	実績	(会社数)	計画	(会社数)	
緊線ウインチ (自走式)	12	(4)	11	(3)	12	(2)	
リールワインダー (電動型)	4	(1)	0		8	(2)	
油圧ドラム架台	0		0		2	(1)	
架線ウインチ	1	(1)	1	(1)	3	(1)	
解体式バックフォー	0		0		0		

大型機械工具は、シューチェーン延線車の配備台数が伸びた。なお、ジブクレーン・クライミングクレーンは現保有機械をメンテしながら高稼働させている状況であり、今後の新規購入計画に関して見直し・検討中の状況と考察する

その他機械工具についても、緊線ウインチが計画を上回る勢いで配備が進んでいる